

報社神社祖明天神明上

第189号 平成25年9月1日



社頭所感

天祖神社宮司 斎藤篤信

― 蛇窪大祭を祝して ―

秋晴れの候、氏子崇敬者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当社社の維持運営にご理解、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

さて本年は当社社鎮座六百九十年、また蛇窪村が上蛇窪村と下蛇窪村に分立された、上下分村三百七十年の節目にあたります。さらに十二年に一度の巳年でもあり、天祖神社にとっては特別な年です。そして、二十年に一度の伊勢神宮式年遷宮とも重なっております。

この分村を記念して、当社では三十年前より、氏子五町会の町神輿が各神酒所を巡拝する連合渡御を十年毎に行っておりますが、本年はいよいよその年を迎えることとなり、さらには長年の念願であった下神明天祖神社との「上下分村三百七十年分村記念式典」という形で実現されることとなりました。

この合同行事については以前より下神明の宮司様と「ご祭神のためにつき二社合同でやろう」とお話して参りました。そして今から五年前、下神明の総代会に申し入れ交渉を続けて参りました。その結果、ついに本年九月十五日にのんき通りで大神輿十二基金の結集が叶うこととなりました。ここに甚大なるご理解とご尽力をいただいた上下の役員総代様をはじめ、関係者各位の皆様に対し、この上ない喜びと感謝を申し上げます。

この記念すべき佳節に、蛇窪大祭として奉仕し、神さまへ感謝を捧げ、さらに町の繁栄を真心こめてお祈り申し上げます。

上下分村三百七十周年記念を迎えて

氏子総代会会長 草柳洋一

氏子の皆様には常日ごろから氏神様に崇敬の念厚く、何かと神社の諸行事にご協力いただきますこと、誠に有り難く厚く御礼申し上げます。九月に入り、厳しい暑さは残りますが、虫の音が日増しに響き、秋の訪れを感じる候となりました。

樹木に囲まれた神社の境内に入りますと、社の前に天祖神社の歴史が紹介されてあります。その一端を記しますと、「元享二年(一二二二年)に武蔵の国が大干ばつに襲われた時、法密上人が森の竜神に雨乞いをして、その難を逃れたことから、ここに神社を勧請した」とあります。当時は鎌倉末期にあたりますが、宗教や祭りも含めて、現代に通じる日本人の思考が形成された時代といわれます。

今年の干支は癸巳(みずのとみ)年ですが、元旦から上神明神社に白蛇竜神を祭る祠には、想像を絶する参拝客が押しかけて、テレビや雑誌にも多く紹介されました。

秋の例大祭は「上下分村三七〇周年記念」を迎えることとなります。分村した当時は、徳川政権が始まって間もない家光の時代です。以来、上下神社それぞれ、延々と今日まで伝統が継続されて来た、日本人の祭りを祝う心に感服するばかりです。今年も、十年に一度の記念すべき大祭典として、上下神明神社合同による、十二町会の分村式典が挙行されます。この行事に当たり、五年前からご準備された、上下神明神社の氏子関係者のご努力に心から敬意を表します。この大祭典を機会に、上神明神社宮司の斎藤篤信様をご引退されることになりました。篤信

様は昭和三十一年から今日に至るまで五十七年間を奉職されました。本当に長い間を神社の復興と氏子の安泰のためにご献身なされました。その業績とご努力に心から感謝申し上げます。

今後は、富岡八幡宮で二十年ご修業された、ご子息の斎藤泰之様が宮司のお役を継承されることとなります。泰之様は分村記念行事にも格別なご配慮とご準備をなされました。又、氏子の皆様や各神社との連携にも精通なされております。今後の益々のご発展とご尊家のご清祥を祈念申し上げます。

酷暑は記録破りになりましたが、氏子の皆さまにはくれぐれもご自愛ください、楽しい祭典が繰り広げられますよう、心から祈念いたします。

蛇窪大祭行事日程

九月十三日(金)午後九時

十四日(土)午前中

午後三時四五分

午後七時

十五日(日)午前十時

午後一時

神輿神霊遷し

五町会神酒所祓

上神明小鼓笛隊・

富士見台中吹奏楽部演奏

(神社 舞台)

奉納演奏大会

蛇窪大祭式典執行

上下分村三百七十年

大神輿連合渡御

・出御式(上神明小)

・上下分村記念式典

のんき通り

光陽産業(株)前

・子供神輿二基合流

二葉三丁目町会

神酒所前

・神輿練りと

富岡八幡宮葵太鼓

・還御式(上神明小)

浦安の舞奉奏

奉納演奏大会

歴史文化のさざなみ…上神明天祖神社

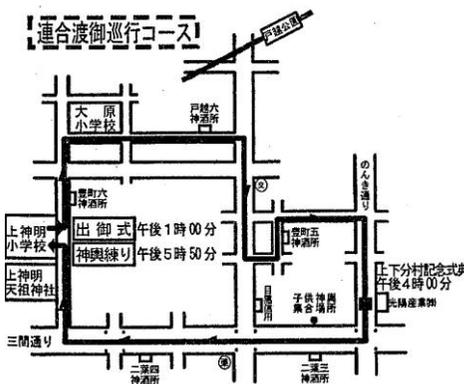
二葉四丁目町会長 根本忠良

日頃は町会行事としての例大祭にご協力頂き、崇敬の方々に感謝申し上げます。今年も建立六百九十年と聞いております。その歴史のさざなみを浅学ではありますが、一筆ご披露申し上げます。

日本史において六百九十年前とは後醍醐天皇即位の五年後に当たり、更に数年後建武の中興を経て、室町時代へと変遷して行きます。

又、西暦六百九十年には持統天皇が一回目の遷宮が成されたことと記されています。今年も伊勢神宮の遷宮に当たります事を思い合わせると、この六百九十年という年記に、いろいろな奇遇を感じます。

今般、宗教としての神社のあり方に否を感じる方がおられる事を認識していますが、私個人としては文化の継承という認識で、町会行事としての例大祭を執り行っております。祖先の菩提寺は日蓮宗であり、人生のさざなみの一つです。



奉納演芸について

各町婦人部長様のお言葉

いよいよ秋祭りの季節です。毎年祭りのお世話と神社の演芸大会のためにご苦労なさつておられる婦人部長様より一言コメントをいただきました。

― 祭りを迎えるに当たり ―

戸越六丁目婦人部長 井淵 良子

毎日厳しい猛暑が続き、熱中症が心配されて居る一方で、局地的な豪雨に見廻れて多くの被害が出ている様子。災害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

やはりこれらの現象は、世界的な異常気象なのででしょうか。

今年も楽しみにしていた例大祭の月が近づいてまいりました。

今年は、上神明神社、下神明神社の大神輿連合渡御に依る分村記念式典も予定されており、久し振りに大祭典になることでしょう。夜は、奉納演芸大会が行われ、各町会の方々の成果が発揮できる事でしょう。

天候に恵まれ行事がつつがなく終了する様お祈り申し上げます。

― 蛇窪大祭によせて ―

二葉三丁目婦人部長 加藤 光子

上神明天祖神社御鎮座六百九十年、上下天祖神社分村三百七十年誠におめでとうございます。節目の年にお役として、奉納演芸大会に携わる

事を嬉しく存じます。

本年は蛇年、上神明天祖神社には、白蛇をお祀りした弁財天が有ります。初詣には五万人以上の参拝客が見えたと同いました。白蛇は弁財天様の使者と聞いております。

弁財天様に護られ記念すべき蛇窪大祭の成功を記念いたします。

今年も氏神様の境内で、各町会の老若男女が集い、日頃の練習を重ねた演芸を奉納できます事に感謝いたし、天候に恵まれ楽しい秋祭りになりますように微力ながら務めさせていただきます。

― 奉納演芸大会に向けて ―

二葉四丁目婦人部長 岡村かの子

今年は残暑が厳しく日中はまだまだ暑さが続きそうです。立秋も過ぎ朝夕は爽やかな秋を感じます。今年も例大祭の季節がまいりました。蛇窪大祭、上下連合大人神輿と盛大なお祭りになる事と思います。子供の神輿、山車の太鼓の響き、元気なかけ声、夕方には大人神輿の勇壮なかけ声と一段と賑やかになります。

夜は天祖神社境内で奉納演芸大会が行われます。大人の方、子供さん達の日々練習に励んでおりますその成果を奉納演芸で発揮させていただきます。楽しみにして居られるご家族、町内の皆様にご披露いたします。天候に恵まれ無事に例大祭が行われます事をお祈り申し上げます。

― 奉納演芸について ―

豊町五丁目婦人部長 森谷 静子

昨年同様、地球温暖化のせいで、各地での集

中豪雨・猛暑・酷暑で被害がたくさん出ております。心からお見舞い申しあげます。

今年も例大祭が近づき、各町会の方々も心待ちにしていた事と存じます。今年の奉納踊りに参加して下さる方々・一生懸命ご指導・練習に励んでいらつしやる方々に感謝し、天候に恵まれ無事に行われる事をお祈りいたします。不慣れで行き届かない所が多いと思いますが、精一杯努力したいと存じます。

― 盛大なお祭りに ―

豊町六丁目婦人部長 柴田よし子

漸く心地よい季節が訪れてまいりました。猛暑が続く各地方ではゲリラ豪雨で水害、土砂崩れの被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。月日の流れは早くお祭りも近づいてまいりました。今年には下神明神社と初めての連合渡御となり大層賑やかな祭典になります事を望んでおります。神社の境内では奉納踊りがあり普段の積りで大いに発揮し楽しいひと時をお過ごし下さい。晴天に恵まれ例大祭が無事終了します様、心よりお祈り申し上げます。

子供神輿巡行担ぎ手募集

二年に一度行われる大神輿連合渡御に、今回も子供神輿を二基出す予定です。

次世代を担う子供達に楽しい大人の祭りへゲスト参加を募集致します。

神社までお問い合わせ下さい。

第六十二回神宮式年遷宮

「お白石奉獻」

平成十七年五月の山口祭にはじまった第六十二回神宮式年遷宮の諸祭、諸行事は着々と進められ、平成二十五年秋にいよいよ遷御を迎える運びとなりました。

それに先立ち、「ご正宮の域内に敷き詰める「お白石」を奉獻する「お白石持行事」は伊勢市民の神宮に対する感謝と誇りが受け継がれてきた民俗行事で、市の「無形民俗文化財」であり、また国の「選択文化財」にも選択されている五百年以上の歴史を持つ伝統行事です。

当社では去る八月四日五日氏子代表者三十名特別神領民として参加いたしました。



月次祭

当社では毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。当日は御神前にて祭儀を厳修し参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、次いで社務所にて「朝粥」を食し歓談いたします。

★七月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、磯 昭夫様、柵木ヒサ様、井渕良子様、高須みちよ様、富田登美子様、吉川トミ様、野秋くに様、柴田よし子様

★八月一日に参列なさった方々のご芳名

草柳洋一様、金子省太郎様、矢羽直公様、柵木ヒサ様、井渕良子様、高須みちよ様、富田登美子様、吉川トミ様、柴田よし子様、白土政枝様

生命の言葉(九月)

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども
風の音にぞ おどろかぬる

藤原敏行

秋が間違ひなくやって来たとは目にはまだはつきりとは見えないけれども、風の音に自然にそれと気付かされて、はっとすることだ。

藤原敏行(ふじわらとしゆき)

生年不詳、九〇七年または九〇一年。
平安時代の歌人、書家。

天祖神社 手作りの本

『のんののきよちゃん』

宮司妹 齊藤恭子(墨田区在住)は蛇窪大祭を記念して、今は亡き先代宮司(父) 齊藤信臣との空襲体験を思い起こし、ささやかな本を作りました。

是非ご覧下さい。

各地区敬老クラブの境内清掃奉仕

毎月十日は各地区敬老クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内の清掃奉仕をなさってくださいました。誠に有難うございます。

七月十日御奉仕の方々のご芳名

豊町五丁目 皆川 茂様、小澤 百男様
二葉四丁目 片岡 トミ様
豊町六丁目 森下とよ子様、大城 正子様
戸越六丁目 広瀬ひろ子様、酒井レイ子様
二葉三丁目 中島千恵子様、川島美代子様

〒一四二一〇〇四三

東京都品川区二葉四一四一十二

天祖神社々務所

TEL 〇三(三七八二)一七一

FAX 〇三(三七八二)一七一

http://www.蛇窪.jp